

コンテナ苗について

コンテナ苗

- マルチキャビティーコンテナ(リブ型やサイドスリット型)等の専用容器で育苗
- ビニールハウス内での育苗が可能



(参考) ^{はだかなえ}裸苗



育苗畑で育苗

【コンテナ苗の特徴】

◎ 生産作業の効率化・労働負荷の軽減

- ・ 育苗ベンチにより立ったまま作業が可能
- ・ 空気根切り※をするため、根切り作業が不要
- ・ 播種や土入れ作業等の機械化が可能

※コンテナ底面や側面に開口部があり、開口部まで到達した根は空気に触れて自然に成長が止まる。

◎ 植栽作業の効率化

- ・ 均一的な形状の根鉢であるため、鍬のほか、専用の植栽器具を使用することで、誰でも簡易な植栽が可能

◎ 植栽時期の拡大

- ・ 裸苗とは異なり、根鉢があることで乾燥ストレスの影響を受けにくいことから、裸苗の植栽に適さない時期も含め幅広い期間で植栽が可能※
- ※寒冷地の冬期や極端に乾燥が続く時期を除き、植栽可能
- ・ 植栽時期が広いことから、伐採と造林の一貫作業に用いやすく、造林コストの低減が期待

一貫作業システムによる低コスト化



○ 伐採・搬出に使う車両系の機械を活用し、地拵えや苗木運搬を行うことで、造林コストの低減が図られる。